



伊豆の国市

議会だより

2018年11月1日発行
No.50
編集
伊豆の国市議会だより特別委員会
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913
<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

六十年十月吉日
ここぞーこだ?

館 みんな知っている?
伊豆の国市のこんなところ

9月定例会

常任委員会報告 2~3

一般質問 4~10

議決結果・賛否一覧 11

TOPIC・議会の動き ... 12

表紙写真の詳細は裏表紙に掲載

■ 常任委員会報告 ■

9月定例会で2常任委員会に付託された議案の審査内容及び閉会中の継続調査の報告です。

総務観光建設委員会

平成29年度一般会計決算

■ ブロードバンド基幹整備事業の補助金の決算額が当初予算の約半分になっている理由は。

予算の見積もりを立てたとき、整備費以外の運営費も見込んで出したが、必要なかったので減額した。

■ 公用車維持管理事業で走行距離が極端に少ない車両があるが、必要か。

年度途中に購入したことにより、走行距離が少なくなる場合や、トラック等は清掃センターなどの場内のみで稼働しているため距離が短くなっている。

■ 消防団編成状況で定数395人に対する団員数は387人と少ないがその対策は。また女性消防団が分団に所属していない理由は。

消防団独自で団員の加入促進プログラムを立ち上げ確保に努めている。また女性消防団員は10人と少ないので、本部付けで活動したほうがまとまりやすいため。

■ バス・鉄道利用促進事業で、75歳以上の人や障がい者が対象であるが、年齢的に利用率は低いので、公共交通機関の維持という目的にどれほど貢献し



ノルディックウォーキング

ているか。

予算額1731万円に対して執行額

は1200万円と利用率は低いので、対象者の見直し等の議論もあり、検討中。

■ 空家対策事業で対策推進協議会委員報酬が8万4千円あるが、何を検討したか。

協議会を立ち上げ、推進計画を策定した。前年に行つた調査の結果を受け

て対策をどう進めいくかを協議した。

■ ノルディックウォーキング推進事業では、10回開催し253人の参加があつたが、まだ市民に浸透していないのではないか。

教室と大会を計画したが、大会は雨

天で中止となつた。今年度も実施して参加者は増えている。協会に認定されると、いすれは全国大会で市内外から大勢の人を呼べるようになるので、ス

ポーツと観光の両面から進めていきたい。

斎場整備事業で当初10億円となつていてが、ここへ来て19億円となつたのは手法が間違つていたのではない

火葬炉を3炉という計画にペット炉を追加したことなど、事業費の算定や情報の出し方などもう少し慎重にやる必要があつた。

か。



新火葬場 イメージ図

平成29年度下水道事業特別会計決算

■ 有収率（給水する水量と料金として収入のあつた水量との比率）が前年より増えたが、見通しは。

雨が不明水として下水に入つてくるが、29年度は降雨量が少なかつたため有収率が上がつた。

■ 雨水が入らないようにすることはできないのか。

家庭の雨どいなどからの雨水を側溝に流さず下水に流す誤接続が多く、それも料金に加算されてくるので、広報等でやめるように訴えているがなかなかわかつてもらえないのが現状である。

平成29年度上水道事業会計剩余金の処分及び決算

■ キヤツシユフロー計算書で資金増加額は約80万円となつていてが、借入金の残高を減少させているということか。

確かにその通り。状況は健全であり、問題はない。

■ 平成32年度から公営企業会計に移行するが、必要額を一般会計から繰り入れしている現状から独立採算でやっていけるのか。

上水道に組み込まれるので、トータルで予算を考えることになるが、簡易水道分を上水道分で賄つて運営することになる。

平成29年度簡易水道事業特別会計決算

■ 給水人口が減り、耐震管の布設替え等があるということで、料金値上げを視野に入れなければならない状況か。

減収傾向にあるが、災害対応等のことを考えると事業を縮小するわけにはいかないので、市民に過大な負担がかからないよう経営戦略を考えたい。